

小田急電鉄 要望項目一覧（23件）

- I 輸送力増強..... 2
 - 1 新線・線増計画
 - (1) 複々線化の早期実現（継続）
 - (2) 多摩線の相模原市内への延伸の早期実現化（継続）
 - (3) 多摩線の愛川・厚木方面への延伸（継続）
 - 2 輸送計画の改善
 - <運転本数の増発等>
 - (1) 最終電車運転時刻の繰下げ、増便（継続）
 - <運転区間の延長>
 - (2) 特急電車（ロマンスカー）の運転区間の延長（継続）
 - <他路線への乗入れ>
 - (3) 相模鉄道線の相互乗入れについての検討（継続）
 - <停車本数の増加>
 - (4) 特急電車（ロマンスカー）の停車本数の増加（継続）
- II 利便性向上..... 5
 - 1 停車要望
 - (1) 特急電車（ロマンスカー）の停車（継続）
 - (2) 急行電車の小田急相模原駅、東林間駅及び相武台前駅への停車（継続）
 - 2 新駅の設置
 - (1) 海老名駅～座間駅間の新駅設置（継続）
 - 3 駅施設等の整備
 - (1) 高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の改善等（継続）
 - (2) 本厚木駅西口の新設（継続）
 - (3) 伊勢原駅ホームの上りエスカレーターの設置及び待合室の増設（継続）
 - (4) 鶴巻温泉駅駅舎施設等の整備（継続）
 - (5) 片瀬江ノ島駅駅舎の建替え及び駅前広場の整備（継続）
 - (6) 高齢者、障害者等に配慮した湘南台駅及び片瀬江ノ島駅の駅施設の整備（継続）
 - (7) 大型コインロッカーの増設（継続）
- III その他..... 9
 - (1) 駅周辺放置自転車対策への協力及び自転車等駐車場用地の提供（継続）
 - (2) 厚木駅の名称変更（継続）
 - (3) 乗継運賃制度の拡充（継続）
 - (4) 駅係員の終日配置（継続）
 - (5) 割引周遊券「丹沢・大山フリーパス」の乗り降り自由区間の区間延長及び西丹沢地域への登山客を対象とした地域バス事業者との連携による周遊券の販売等について（継続）
 - (6) 湘南台駅、藤沢駅及び片瀬江ノ島駅構内における多言語での案内放送の実施（継続）

I 輸送力増強

1 新線・線増計画

(1) 複々線化の早期実現（継続）

貴社のご尽力により、登戸駅～向ヶ丘遊園駅間は、3線で運転され、登戸駅に関しましてもホームの拡幅、北口改札の完成及び快速急行の停車により、利便性の向上が図られておりますが、小田原線、江ノ島線の朝夕の通勤・通学時間帯の混雑は、依然として解消されていない状況となっております。

については、引き続き交通政策審議会答申第198号で示された登戸～新百合ヶ丘間、さらには相模大野駅までの複々線化計画を具体化されるよう要望いたします。

（川崎市総合都市交通計画、相模原市都市計画マスタープラン、相模原市総合都市交通計画）

(2) 多摩線の相模原市内への延伸の早期実現化（継続）

唐木田駅まで開業されている多摩線の上溝駅への延伸は、相模総合補給廠の一部返還地のまちづくりを進める相模原市にとって、東京方面との重要なアクセスとして、また、将来の望ましい都市構造を形成する上でも、必要不可欠なものになっており、交通政策審議会答申第198号においても、東京圏の都市鉄道が目指すべき姿を実現する上で、「意義のあるプロジェクト」の一つとされております。

また、貴社におかれましては、これまでも「小田急多摩線延伸検討会」や「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」にご参画いただき、延伸の実現に向けた積極的なアドバイスをいただくとともに、答申において示された課題の解決に向けた検討にご協力いただいているところです。

については、引き続き、課題解決に向けご協力いただくとともに、唐木田駅から相模原駅を経由し、上溝駅への延伸について、関係機関との協議を進め、早期実現化されるよう要望いたします。

（新・相模原市総合計画、相模原市都市計画マスタープラン、相模原市総合都市交通計画、相模原市広域交流拠点整備計画）

(3) 多摩線の愛川・厚木方面への延伸（継続）

厚木・愛甲地域の公共交通は、鉄道が通る厚木市南部を除き、バス交通が主要な交通手段を担っておりますが、道路混雑等から、速達性・定時性の低下を招いている状況であります。

一方で、さがみ縦貫道路の全線開通や新東名高速道路の整備の進捗等から、当地域においては、企業立地が進んでおり、多くの雇用・従業員の創出が見込まれる状況であります。

現在、唐木田駅まで開業されている多摩線が、上溝駅から田名地区・愛川町を経由し、本厚木駅に延伸されることで、延伸線沿線地域の公共交通網が拡充され、

通勤、通学者の利便性向上はもとより、観光客の増加や産業経済のさらなる活性化が見込まれるほか、バスや自動車との機能分担が効果的に図られ、道路混雑の緩和や排気ガス削減による地球環境の保全にも寄与することが期待されます。

また、交通政策審議会答申第 198 号においては、上溝駅までの延伸は、東京圏の都市鉄道が目指すべき姿を実現するうえで意義のあるプロジェクトの一つとされているとともに、「更なる延伸」の検討についても記載されているところです。

これらのことから、多摩線の延伸は、今後のまちづくりになくってはならないものと考えており、上溝駅までの延伸について早期実現化されるとともに、愛川、厚木方面についても延伸されるよう要望いたします。

（新・相模原市総合計画、相模原市都市計画マスタープラン、相模原市総合都市交通計画、第 9 次厚木市総合計画～あつぎ元気プラン～、厚木市都市マスタープラン、第 5 次愛川町総合計画後期基本計画、愛川町都市マスタープラン、愛川町総合交通計画）

2 輸送計画の改善

<運転本数の増発等>

(1) 最終電車運転時刻の繰下げ、増便（継続）

現在、相模鉄道線下り最終電車は、海老名駅着 1 時 9 分となっております。一方、小田原駅行き下り最終電車は、海老名駅発 0 時 26 分で、横浜方面から県央地域以西の利用者にとって不便な状況となっております。

また、小田原駅止まりの下り最終電車は、新宿駅発 23 時 42 分となっております。経済のサービス化が進展する中、勤労者の勤務形態は多様化し、特に鉄道の深夜運転を望む声は高まっておりますので、線路・車両等の保守点検時間の短縮を図るなどの工夫により、最終電車の運転時刻を繰り下げられるよう要望いたします。

<運転区間の延長>

(2) 特急電車（ロマンスカー）の運転区間の延長（継続）

特急電車については、引き続き車内整備や点検等、必要な業務の効率化を図っていただきながら輸送動向を検証していただき、22 時 30 分以降に新宿駅を発車する相模大野駅止まり 1 本、本厚木駅止まり 3 本についても、秦野駅、小田原駅まで延長運転されるよう要望いたします。

また、平成 24 年 3 月のダイヤ改正に伴い旧「あさぎり号」（現「ふじさん号」）の運行区間が新宿～御殿場駅間に縮小されました。富士山の世界文化遺産の登録を機に、御殿場～沼津駅間の運行区間の再延長を要望いたします。

さらに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、今後ますます訪日外国人観光客の増加が見込まれます。

現在、東京方面から箱根を訪れるためには、どのルートを利用しても乗換えを余儀なくされ、不慣れな外国人観光客にとっては、かなりの負担がかかるものと思われま

については、外国人観光客の利便性向上を図ることで、新たに外国人観光客の掘り起こしが期待されるため、現在、北千住駅から、箱根湯本駅まで直通運転を行っている「メトロはこね」号の運行区間の延長や増発について検討いただけますよう要望いたします。

(松田町第5次総合計画、松田都市計画マスタープラン)

<他路線への乗入れ>

(3) 相模鉄道線の相互乗入れについての検討(継続)

厚木・愛甲地域(厚木市、愛川町及び清川村)の住民が横浜方面に移動する頻度は、東京方面と同じく年間相当数あり、海老名駅での乗換えに不便を感じております。

については、JR線及び東急東横線と相模鉄道線の相互直通運転実施に関する事業や、また、相模鉄道線は、過去において本厚木駅まで乗り入れていた実績もあることから、これを契機に、関係各社と連携して相模鉄道線の本厚木駅乗入れについてご検討されるよう要望いたします。

本厚木駅は、他線との乗り換えがない関東大手私鉄の駅において乗降人員数がトップクラスであると同時に、厚木市の昼夜間人口比率は115.6%であり、県内19市で1位であります。これは市内在住及び在勤、在学の多くの利用者があるものであり、横浜方面への往来も相当な数にのぼります。

よって、現在海老名駅止まりの相模鉄道線の本厚木駅までの延伸は本厚木駅利用者のみならず、県央・県西方面の住民の利便性が飛躍的に向上します。

また、さがみ縦貫道路等の高規格道路が完成したことで、県央地域の産業集積がさらに進むことも確実であり、地域経済の活性化の観点から、商工会議所などの経済界からも強い要望がありますので、本格的な検討をお願いいたします。

(第9次厚木市総合計画～あつぎ元気プラン～、厚木市都市マスタープラン)

<停車本数の増加>

(4) 特急電車(ロマンスカー)の停車本数の増加(継続)

現在、松田駅に停車するふじさん号(小田急・御殿場線)は、平日で上下6本、土休日で上下10本あり、上り路線は観光利用のしやすい時間帯に運行されているものの、下り路線では、新宿駅14:40発が最終であり沿線地域から首都圏への利用者にとって利便性が低くなっています。

については、小田急線との乗換え駅でもある松田駅での通勤、通学利用者の利便性向上のため、ふじさん号の松田駅への帰宅時間帯における停車の実現と、通勤・通学者の利用しやすい時間帯の運行、及び停車本数の増加を関係各社と連携して検討していただくよう要望いたします。

伊勢原駅は、土休日の特急電車の停車本数の増加により、観光目的等による来訪者の利便性向上が図られているところです。一方で、通勤通学利用等を目的とした伊勢原駅利用者の日常的な利用に当たっては十分とは言えない状況にあります。

伊勢原駅は、伊勢原市民をはじめ隣接する平塚市の住民など、首都 50 km 圏域の都市住民が広く日常的に利用する重要な鉄道駅となっています。

については、複々線化の完成による東京都心方面への速達性の向上と合わせ、伊勢原駅利用者の更なる利便性向上のため、朝の通勤通学時間帯（上り）及び帰宅時間帯（下り）における特急電車の停車を要望いたします。

（松田町第 5 次総合計画、松田町都市計画マスタープラン）

II 利便性向上

1 停車要望

(1) 特急電車（ロマンスカー）の停車（継続）

湘南江の島周辺地区の一角に位置する鵠沼海岸は、サーファーに人気の海岸としてのみならず、ビーチバレー発祥の地として常設コートが設置され、ビーチバレージャパンなどの大会が開催されるなど、魅力ある観光資源を備えた地域となっています。現在、千代田線北千住駅から片瀬江ノ島駅に向けては、土・休日には特急「メトロえのしま号」を、さらに平日には「えのしま号」等を運行されているところですが、海水浴シーズンにおいては、観光客等の回遊性の充実を図るため、鵠沼海岸駅に特急電車を停車されるよう要望いたします。

また、新松田駅は、平成 30 年 3 月のダイヤ改正に伴い、特急電車（ロマンスカー）の停車が中止となりましたが、同駅は、松田町はもとより JR 御殿場線の乗換駅でもあることから近隣市町の利用も多く、通勤・通学等に欠かすことのできない「県西地域の北の玄関口」としての役割を担っております。通勤・通学者等の利便を図るため、新松田駅に特急電車を停車されるよう要望いたします。

（松田町第 5 次総合計画、松田町都市計画マスタープラン）

(2) 急行電車の小田急相模原駅、東林間駅及び相武台前駅への停車（継続）

小田急相模原駅、東林間駅は、相模原市都市計画マスタープランにおいて、地域の拠点として位置付けており、駅を中心に利便性の高い生活の拠点づくりを進めることにより、地域の活力を向上することとしております。特に、小田急相模原駅周辺は再開発事業等により、駅周辺地区の一体的な整備を実施いたしました。

については、利用者の利便性向上を図るため、小田急相模原駅及び東林間駅へラッシュ時等に急行電車を停車されるよう要望いたします。

また、平成 11 年 7 月のダイヤ改正に伴い、急行電車の相武台前駅への停車が中止されましたが、座間市の玄関口である同駅周辺には、市民体育館や市役所、市民文化会館などの公共施設があり、市の核となっており、座間市都市マスタープランにおいても同駅周辺を地域拠点として位置付けております。さらに、将来同駅周辺の再開発事業が進められる予定もあり、今後、同駅の利用者数の増加が見込まれることから、通勤・通学者等の利便性の向上を図るため、ラッシュ時に急

行電車を停車されるよう要望いたします。

2 新駅の設置

(1) 海老名駅～座間駅間の新駅設置（継続）

両駅間沿線の土地利用は、住宅開発等により人口が集積され、当線利用者が増大しております。また、駅間距離が 3.3 km と長いことも考慮され、両駅間に新駅を設置されるよう要望いたします。

（海老名市第四次総合計画後期基本計画、海老名市都市マスタープラン）

3 駅施設等の整備

(1) 高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の改善等（継続）

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」に基づき、バリアフリー化について、整備を進めていただいているところですが、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」も踏まえ、誰もがより安全かつ自由に駅を利用できるよう、引き続き、次の事項について、特段に配慮されるよう要望いたします。

また、県内市町村において、バリアフリー法に基づく基本構想が作成されている場合、当該基本構想に基づく公共交通特定事業計画の作成及び移動等円滑化にかかる事業を推進し、整備にあたっては、高齢者・障害者など駅利用者の意見を聞きながら進めるよう要望いたします。

① 転落防止

ホームドアや可動式ホーム柵は、ホームからの転落や触車防止に有効な施設であると認識しているため、国の「駅ホームにおける安全性向上のための検討会（中間とりまとめ）」の整備方針を踏まえ、早期設置をお願いいたします。設置まで長期間かかる駅につきましては、CPラインの積極的な導入を要望いたします。

また、ホームと車両との段差及びすき間の解消につきましても、引き続き取組をお願いいたします。

② 多機能トイレ等

構内において、乳幼児連れの利用者が使用できる授乳スペース・おむつ替えベッド・ベビーキープ付きトイレ・親子トイレの整備を要望いたします。

特に、蛸田駅・中央林間駅・鵜沼海岸駅につきましては、おむつ替えベッド・ベビーキープ付きトイレのどちらも整備されていないため、整備をお願いいたします。

また、整備にあたっては、公共交通移動等円滑化基準のみならず、国土交通省が定めた公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドラインを踏まえていただきますようお願いいたします。

障害者等の利便性向上のため、オストメイト対応トイレに、温水シャワー水栓付き汚物流しの設置を要望いたします。また、重度心身障害者も利用できるよう、車いす対応トイレに大人用ベッドを設置するよう要望いたします。

③エレベーター、エスカレーター等

傷病者を安全・確実に搬送するため、救急担架（奥行き 2.0m、幅 0.6m程度）が容易に収容できるエレベーターの設置を要望いたします。

ただし、構造的な制約により、設置まで長期間かかる場合は、当面の代替策として、足部等が折りたためる等のコンパクトにエレベーターに収納することが可能なサブストレッチャー（搬送補助器具）の装備及び駅構内の階段を利用した搬出時の、駅係員等の協力体制の確保を要望いたします。

また、相模大野駅東口のバリアフリー化のための施設を早期に整備されるよう要望いたします。

④車両等

移動等の円滑化された車両（ロマンスカー座席番号の点字案内等）の積極的な整備、導入を要望いたします。

全車両内において、車いすやベビーカーなどの利用者が利用できるスペースを配置するとともに、周囲からも容易に認識できるように、床面等の着色を行うよう要望いたします。また、駅構内において、車いすやベビーカーなどの利用者に対する相互理解を深めるためのポスター等の掲出についても併せて要望いたします。

⑤案内表示

駅構内において、多言語及びふりがなが表示された案内板の設置を要望いたします。

また、駅構内へのAEDの設置により、急病人発生に備えていただいておりますが、どこにAEDが設置されているのかがわかりづらいという市民からの声が届いております。AEDが設置してある場所にはステッカー等が貼られておりますが、設置場所まで近づかないと分からないのが現状です。トイレへの誘導標識のように、AEDの設置場所がすぐに分かるような標識の設置や、駅構内図へのAEDの設置場所の記載等を要望いたします。

⑥人員対応

ラッシュ時における改札、精算窓口の増員を要望いたします。

また、駅係員等への救命講習受講の促進を要望いたします。特に、AEDにつきましても、全駅に設置いただいているところですので、的確に使用するため講習受講の促進及び正確な知識・技術の維持のため3年ごとの講習の再受講の促進をお願いいたします。

（かながわランドデザイン、川崎市総合都市交通計画、新・相模原市総合計画、相模原市総合都市交通計画、第2期相模原市障害者福祉計画、藤沢市都市マスタープラン、第8次大和市総合計画、大和市障がい者福祉計画、大和市都市計画マスタープラン、大和市総合交通施策、大和市子ども・子育て支援事業計画、海老名市都市マスタープラン、海老名市障がい者福祉計画、第四次座間市総合計画、座間市都市マスタープラン、松田町第5次総合計画、松田町都市計画マスタープラン）

(2) 本厚木駅西口の新設（継続）

本厚木駅は、一日平均15万人を超える乗降客が利用しております。乗降客の多くが利用する南口・北口は、南北を結ぶ自由通路としての役割も兼ね備えているため、一般客の往来も含め、特に朝夕のラッシュ時においては、非常に混雑している状況となっております。

また、西口の新設については、商工会議所など経済界からの強い要望もあり、厚木市においても駅周辺の活性化及び新たな駅利用者の動線確保に向けての調査研究も行っております。

ついでには、南口・北口の混雑緩和を図り、駅西方からの利用者の利便性向上のために、西口を新設されるよう要望いたします。

（厚木市都市マスタープラン）

(3) 伊勢原駅ホームの上りエスカレーターの設置及び待合室の増設（継続）

伊勢原駅ホームは、ホーム階段が狭いことから、朝夕、多くの利用者が滞留し混雑していますので、ホーム階段の拡幅及び上りのエスカレーターの設置を要望いたします。

また、現在、待合室は、上り線ホームのみ設置されています。ホーム内での待ち時間を快適に過ごすことができるよう、下り線ホームへの増設を要望いたします。

(4) 鶴巻温泉駅駅舎施設等の整備（継続）

鶴巻温泉駅施設の整備については、平成27年度に施行協定を締結し、着実に駅施設の整備を進めていただいております。

今後も、今年度末の完成に向けて、鶴巻温泉駅施設整備（北口駅舎改修含む）に取り組んでいただきますようお願いいたします。

また、秦野市は、平成21年7月に「鶴巻温泉駅南口周辺整備基本構想」を策定し、この中の「まちづくり基本構想」に駅舎改築に伴う自由通路整備構想を位置付けており、今後、貴社が駅舎を大幅に改築する際には、秦野市が将来構想として検討した駅舎改築に伴う自由通路整備の実現に向けての対応をお願いいたします。

（秦野市総合計画（HADANO2020プラン））

(5) 片瀬江ノ島駅駅舎の建替え及び駅前広場の整備（継続）

藤沢市では、東京2020オリンピック競技会場への玄関口の一つである片瀬江ノ島駅駅前広場の整備を進めています。

整備を円滑に進めるためには、貴社で進めている片瀬江ノ島駅駅舎の改良建替えと一体的に取り組む必要があることから、引き続き緊密な協議を要望します。

(6) 高齢者、障害者等に配慮した湘南台駅及び片瀬江ノ島駅の駅施設の整備（継続）

湘南台駅及び片瀬江ノ島駅については、東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が開催される江の島への乗換駅、最寄駅でもあることから、オストメイト対応トイレは、温水シャワー水栓付き汚物流しのタイプに改良いただくとともに、車いすを使用するオストメイトにも利用可能な高さ調整機能の導入を要望いたします。

また、重度心身障害者も利用できるよう、車いす対応トイレに大人用ベッドを設置するよう要望いたします。

(7) 大型コインロッカーの増設（継続）

貴社及び藤沢市による観光誘客の取組等により、藤沢市を訪れる訪日外国人観光客が増加しています。また、東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が江の島で開催されることに伴い、今後も訪日外国人などの観光客の増加が予想されます。

こうしたことから、藤沢駅2階にある「湘南藤沢コンシェルジュ」では、平成30年3月のリニューアルに併せ、手荷物預かり所を設置したところであり、片瀬江ノ島駅の駅舎改築工事に併せて大型コインロッカーの増設を検討いただき感謝申し上げます。鵜沼海岸駅につきましては、市も公共用地への設置の可能性について調査検討いたしますので、引き続きご検討をお願いします。

III その他

(1) 駅周辺放置自転車対策への協力及び自転車等駐車場用地の提供（継続）

自転車等駐車場の設置に際し、駅周辺については公共空間を活用した路上駐輪施設の設置を進めるなど各自治体において鋭意努力していますが、新たな用地を確保することは困難な状況にあり、適地がなく苦慮している状態となっております。

については、鉄道を利用する通勤・通学者には、自転車や原動機付自転車の利用者が数多くいること、また、自転車等駐車場の設置に対する鉄道事業者の協力義務を規定した「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律（自転車法）」や、平成30年6月に閣議決定された自転車活用推進法に基づく「自転車活用推進計画」の趣旨にのっとり、次の各市内各駅への自転車等駐車場の設置・運営や用地の提供及び確保、施設の設置や維持への助成等、放置自転車対策の推進について、積極的に取り組まれるようお願いいたします。

・川崎市11駅・藤沢市9駅・相模原市3駅・秦野市1駅（渋沢駅）・厚木市2駅・大和市6駅

また、現在有償で自治体へ貸し付けている用地の借地料軽減についてご検討されるよう要望いたします。

なお、平成18年6月から改正道路交通法が施行され、自治体としても自動二輪車（排気量50ccを超えるもの。ただし、側車付きは除く。）の駐車対策を早急に進める必要があるため、自転車や原動機付自転車と同様に、自動二輪車の駐車場の設置につきましても、特段のご協力、ご配慮をお願いいたします。

藤沢市では、藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画に基づく事業と連携した駐輪場施設整備を進めておりますので、貴社におかれましても、引き続き自転車等駐車場の管理運営・用地の提供等の協力について、ご検討をお願いいたします。

〔新・相模原市総合計画、相模原市自転車対策基本計画、ふじさわサイクルプラン、大和市総合交通施策〕

(2) 厚木駅の名称変更（継続）

厚木駅は、海老名市に位置しているにもかかわらず、厚木駅という名称のため、遠来者や旅行者が厚木市の本厚木駅と錯誤し、降車する等の状況が多数見受けられます。平成24年2月からホーム上の駅名表示に住所併記等ご協力頂いておりますが、市民等からも名称変更の強い要望がありますので、厚木駅の名称を変更されるよう要望いたします。

(3) 乗継運賃制度の拡充（継続）

現在、貴社におかれては、JR東日本ほか、他の民営鉄道との乗継ぎによる割引運賃の導入を行い、平成25年3月からは交通系ICカードの全国相互利用サービスが開始され、公共交通機関の乗継利便性の向上に取り組まれておりますが、さらなる利便性の向上を図るため、今後は、他の公共交通機関も含めた乗継運賃制度の拡充について、積極的に取り組まれるよう要望いたします。

(4) 駅係員の終日配置（継続）

合理化策の一環として早朝や夕方などの時間帯において、一部の駅で無人化が実施されております。安全管理については、遠隔監視装置による利用客との通話や防犯カメラの設置、警備会社による巡回等のご対応を行っていただいておりますが、人命に関わる事故等の発生時には、現状の体制では迅速かつ十分な対応策が取れない等の懸念があります。当面は案内係員の配置を要望するとともに、駅施設の維持・管理、防犯、利用者の安全性向上及び高齢者、障害者等移動制約者の利便性の確保等の観点から、次の各駅に駅係員を終日配置されるよう要望いたします。

・栢山・富水・蛍田の各駅

（小田原市都市計画マスタープラン）

(5) 割引周遊券「丹沢・大山フリーパス」の乗り降り自由区間の区間延長及び西丹沢地域への登山客を対象とした地域バス事業者との連携による周遊券の販売等について（継続）

丹沢・大山地域はその一部が「国定公園」に指定され、その豊かな自然や名所に惹かれ、都心からのアクセスも1時間程で、週末には緑や清流、森林などを求める多数の観光客を集客する地域であります。地域の回遊性向上策として、貴社では割引周遊券「丹沢・大山フリーパス」を発行しているところですが、その乗り降り自由区間が「本厚木～渋沢」間となっており、同公園の一部に指定されている松田町（新松田駅）が含まれておりません。国定公園の一体性に鑑み、県西地域への誘客のため、区間を「新松田駅」まで延長、もしくは新松田駅を含む新区分を創設していただくよう要望いたします。

また、西丹沢地域(山北方面)に向かう中継点(県西の北の玄関口)として「新松田駅」が利用されていることから、当該地域の登山者の誘客を目的とした、地域バス事業者との連携による周遊券の新規設定及び当該駅を基点とした、足柄上地域の面的に広がる各種観光資源と連携したイベント等の開催の検討をお願いいたします。

(6) 湘南台駅、藤沢駅及び片瀬江ノ島駅構内における多言語での案内放送の実施（継続）

東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が江の島で開催されることに伴い、今後さらなる外国人観光客の増加が見込まれます。

湘南台駅、藤沢駅及び片瀬江ノ島駅については江の島への乗換駅、最寄駅であり、多くの外国人観光客の利用が予想されるため、現在英語でのみ実施している案内用タブレット及びアナウンスについて、多言語化（中国語、韓国・朝鮮語等）するよう要望いたします。